

2019年6月通常総会議事録

日時：2019年6月11日（火） 11:00～15:00

場所：東京都北区 北とぴあ 第二研修室

出席者：1頁参照

1. 開会

司会の増田理事より開会が宣言された。

2. 会長挨拶

内田会長から日頃の連盟活動への協力に対して感謝の意が表明され、本総会議事進行に対して協力をお願いした。

3. 本通常総会概要説明と正会員出欠確認

司会より、議事進行上の注意事項と、傍聴者の確認、会議運営の説明が行われた後、理事、監事および出席委員会委員長の紹介と、本総会の出欠確認が行われた。

出席確認：

出席正会員 38名、委任状 4名、議決権行使 5名

合計出席者 47名

4. 定数の確認・議事録作成人の指名

総正会員の過半数の出席を得て、本総会は成立した。

議事録作成人の指名： 事務局長 桜井加代子

議事録署名人： 出席理事・監事

5. 総会の目的事項

報告事項1 2018年度事業報告について

小林副会長が2018年度事業報告概要の説明を行い、質疑に入った。

青森県連：タンデムについて意見書、質問が出ても理事会で審議されていない。また、今回役員立候補者にアンケートを出したが、委員会から公表を拒否された。フライヤーの意見を広く反映すべき。上級タンデム制度は事故防止対策を課題として行われたとのことだが、搭乗可能なのが同居の親族だけになるのは、危険が残るのではないのか。

安田副会長：質問、意見書については理事会宛に正式に出してもらえれば確認します。タンデムについては公式文書で答えています。委員会に対することは委員長宛に出してもらえれば委員会で確認します。技能証規程については、専門の担当委員会、制度委員会が確認をして理事会で決めています。細かい条文は担当委員会に任せており、総会の場での議論は好ましくありません。役員選任実行委員会への要望は理事会が関与できません。

青森県連：タンデムについては危険度が残ってもよいとの判断なのですね？

小林副会長：同居の親族の場合は保険対象外です。それだけの覚悟を持って飛ぶという意味を持っていると理解しています。なお、上級タンデムパイロットはフライヤー登録者を同乗してよいとなっています。

青森県連：危険度が残る認識は持っているのですか？

小林副会長：上級タンデム証の普及に伴い危険度は下がると思います。タンデム技能証の継続については再教育も今後行っていきます。

神奈川県連：教員・助教員更新講習会ですが、17年は20箇所で行い、昨年は11箇所となっていますが、どうして減ったのでしょうか？

議長（内田会長）：3年に1度の受講なので年毎に偏りは出ます。全体数としては、更新者数からして著しい減少とは考えていません。

沖縄県連：教本改定が最終段階とのことですが、改定はいつ頃になりますか？

議長（内田会長）：増刷した分の在庫があります。秋頃には新教本の発行を予定します。

報告事項2 2018年度決算報告・監査報告について

内田会長から2018年度決算報告の説明の後、岩村監事から監査報告があり質疑に入った。

大阪府連：財産目録の貯蔵品（教本）が189万円となっていますが、これが捌けるまでは次の教本が出ないのですか？

議長（内田会長）：この金額は全部教本ではありません。教本在庫が0になるまでではなく、今秋に作業が終われば発行します。

決議事項1 貸借対照表および損益計算書（正味財産増減計算書）の承認について

議長（内田会長）：報告事項2の中で説明された、貸借対照表および損益計算書（正味財産増減計算書）並びにその附属明細書および財産目録について承認、決議をお願いします。

決議事項1について採決し

【賛成：47（賛成42（内委任4）、議決権行使5） 反対：0 棄権：0】
で承認された。

報告事項3の前に休憩が入り、午後の部開始時に9月7日に開催される「いきいき茨城ゆめ国体2019」のデモスポ大会（ハンググライダー、パラグライダー）の競技の件について茨城県連板垣理事長から説明があった。

日本学生フライヤー連盟の墨理事長からは、広報活動や情報発信を早め実施することに努めた結果、大会や合宿への延べ参加人数が増加したことが、また金沢大に新しいハングサークルができたこと、各地の新歓でVRの活用を多く行ったことなども報告された。さらに、今年の活動目標では、講習生も楽しめるイベントを考えていく旨の計画説明があった。

報告事項3 2019年度事業計画について

小林副会長から2019年度事業計画について説明を行い、質疑に入った。

神奈川県連:事業計画に「ボランティア制度の活用促進」がありますが、どういう目的ですか？

議長(内田会長):募集は引き続き出しています。例えば弁護士の方に登録をしてもらい、必要な時に相談させてもらっています。

和歌山県連:競技委員会でライブトラッカーの購入検討がありますが、どういう予定ですか？ また、パラでも考えていますか？

HG競技委員 牟田園:総務省に問い合わせ等を行い、引き続き確認中です。

PG競技委員長 岡:ハングが中心ですがスカイスポーツ振興会で別組織を立ち上げ、そこで運営していきます。パラも使えるようにしていきます。

茨城県連:スカイスポーツ振興委員会の副委員長の板垣です。近日中に100個ライブトラッカーが入る予定です。前向きに総務省が検討しているので、ドローンが許可され、ライブトラッカーも許可が出る見込みです。

静岡県連:各委員会で新しい事業などに予算がついているようですが、前年度比で増加している部分の説明をしてください。

議長(内田会長):次の予算案で説明しますが、全体に18年度予算では窮屈な計画であったのに対し、例年の数値に戻しています。委員会から申請のあった特定事業には、全て予算を付けています。

報告事項4 2019年度収支予算について

内田会長から収支予算について説明を行い、質疑に入った。

石川県連:公益目的事業基金は1800万円一括で取り崩すのですか？ 半額ずつできますか？

議長(内田会長):取り崩す時は全額になります。

決議事項2 JHF役員選任について

役員選任実行委員会鈴木委員長から、JHF役員選任について説明があり、立候補者からの挨拶があった。

芦川：出来るだけ事故を減らすことをしていきたい。

殿塚：フライヤー人口の減少、財政が厳しいと言われていますが、5千人に減っても大きな組織である。10年、20年かけてよい組織にしたい。

小林：後進の育成でもう少しがんばりたい。

内田：結果が見えないとやっていないことになるが、機会を逸せず努力する。

安田：人口減少をどうにかしたい。事故があつての対策だけでなく、特定の事故を防ぐことをやりたい。高齢化するので、これからのJHFを担っていく若い委員、理事を育てたい。

大沢：楽しく自由に空を飛べる環境を守りたいと理事をしてきた。ハングの教本を作るためにもう1期頑張りたい。

市川：公益法人として行政に関わる部分を担当してきた。公益社団法人の運営にとって大切なのは誠実で公平、厳正であること。フライヤーの意見を十分聞くことも重要。

岩村：理事会に出ているが理事会も成長している。私も成長しながらお手伝いしたい。

茨城県連理事長（監事立候補の大森さんの代理）：ハングも長く、スクールもやっている真面目な方なのでよろしくお願いします。

役員選任実行委員会 鈴木委員長：投票の結果を発表します。

投票総数40票（内不在者投票2票）のため、21票をもって信任になります。

芦川35票、市川36票、内田35票、大沢34票、小林37票、殿塚33票、安田35票、岩村38票、大森37票

理事は、芦川雄一郎、市川孝、内田孝也、大沢豊、小林秀彰、殿塚裕紀、安田英二郎7名、監事は岩村浩秀、大森健一2名が信任されました。

議長（内田会長）：では決議事項2として、役員を選任につきましては定款並びに役員選任規約に基づき、今の投票で全員の採決が行われ、決議されたということになりました。

拍手を持ちまして承認とさせていただきます。

賛成（拍手）

決議事項2について承認された。

7. 閉会

司会より出席者に謝意が表明され、閉会が宣言された。

この議事録が事実と相違ないことを確認し、記名捺印する。

令和元年6月11日

議長・理事 内田孝也 印

理事 芦川雄一郎 印

理事 市川 孝 印

理事 大沢 豊 印

理事 金井 誠 印

理事 小林秀彰 印

理事 殿塚裕紀 印

理事 増田憲治 印

理事 安田英二郎 印

監事 岩村浩秀 印

議事録作成人： 桜井 加代子